

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

○ 新図書館整備について

新図書館新築工事の進捗状況についてご報告します。

全国的な建築ラッシュの影響により、杭製品など、資材の調達に想定以上の日数を要したほか、軽微な地層確認を見込んでいた埋蔵文化財調査が、予想以上の遺構密度であったため、手掘りによる調査が必要となり不測の日数を要するなど、工程どおりの施工が困難な状況が続きました。

そのため、一定程度の工期延長をせざるを得ない状況となり、今議会において工期延長に係る契約変更の議案を提出しています。

○ 頑張る学校応援事業について

今年度の頑張る学校応援事業は、行幸小学校が優良実践校に選定されました。行幸小学校は、児童に達成感や成就感を持たせ、自尊感情を育むことを狙いとし、「学級の目標」と「学級のルール」を作る活動を行い、学級作りのイメージを児童全員で共有しました。また、3泊4日の長期宿泊体験を実施し、友達と協力して困難を克服できる活動を取り入れ、団結力を生かした学級作りを積極的に進めました。こうした取り組みにより、児童の自尊感情の高まりが見られ、落ち着いた学習環境や学び合いも充実しているところであり、学力向上にも効果があったことが評価されました。

○ おかやま教育週間について

岡山県では、学校、家庭、地域社会が一体となって「地域の子どもは地域で育てる」という機運を盛り上げるため、毎年11月1日から7日までをおかやま教育週間としています。

本市では、各学校園の実情に合わせて、この教育週間中に学校開放を1日実施しました。各学校園では、保護者や地域の方に子どもたちの活動や授業を自由に見ていただいたり、行事に参加いただくなど、創意工夫した学校開放を実施しました。この期間中には、延べ2,286人の方にお越しいただきました。今後も学校、家庭、地域社会が一体となって子どもたちを育てていけるよう、大切な機会として学校開放を継続していきます。

○ 平成27年度瀬戸内市青少年健全育成推進大会について

「地域の子どもは地域で育てよう」をテーマとし、11月29日にゆめトピア長船において瀬戸内市青少年健全育成推進大会を開催します。

第1部は、応募総数1,345点から選ばれた「明るい家庭づくり」作文の市優秀賞受賞者による発表を行います。日常生活の中で家族や家庭を振り返り、感じたことや考えたことなどを作文にしたもので、例年素晴らしい発表となっています。

第2部は、精神科医の「香山^{かやま}リカ」さんをお迎えし、「子どもの心をのぞいてみれば」と題して講演会を行います。今年度は、「親をはじめとする大人たちは、子どもたちが抱える多くの問題にどのように向き合い、サポートしていけばいいのか」という点に着目し、子育て世代を中心と

する参加者にとって有意義な内容を専門家の立場からお話いただきます。
なお、第2部の講演会については、手話通訳を導入することとしています。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では、9月18日から11月8日まで、第10回お守り刀展覧会を開催しました。今年度も、「文部科学大臣賞」や「駐日ポーランド共和国大使賞」が授与され、国内外から展覧会を高く評価いただいています。

11月11日から1月24日までは「再び煌めく赤羽刀展」と称して、テーマ展を開催しています。国から譲渡され、研磨修繕し、再び輝きを取り戻した赤羽刀を、鎌倉時代から幕末までの備前刀を中心に展覧しています。

来年1月29日からは特別展「備前刀剣王国」にて、国宝や重要文化財を筆頭に備前刀の名品ばかりを展覧します。日本一の刀剣王国である備前の名刀を展覧することで、誇りある郷土の歴史や文化を紹介していきます。

○ 瀬戸内市文化祭・備前長船菊花展の開催について

公民館を拠点としてさまざまな文化芸術活動を行っている個人・団体の方々による日頃の学習成果の発表として、10月・11月に各公民館で文化祭を開催し、延べ約8,500人の方々の来場をいただきました。

中央公民館では岡山フィルハーモニック管弦楽団によるクラシックの名曲の演奏や日本の歌を来場者と共に歌うなど弦楽四重奏と歌のコンサートも行われました。

また、今年で第29回を迎えた備前長船菊花展を10月18日から11

月15日まで開催し、約6,000人の方々の来場をいただきました。

展示会場には、菊づくり講座受講者や愛好家の皆さん74人による184点、1,222鉢の「市の花」菊が見事に咲き誇りました。11月5日から夜間のライトアップを行い、夜の幻想美もご覧いただきました。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では、9月5日から10月25日まで、特別企画展「奥田小由女展 ―愛と夢 慈愛のすがた―」を開催しました。奥田小由女さんは現日展理事長でもある人形作家であり、開会式にご臨席いただくとともに、会期の初期と最終週末の計4日間にわたり列品解説をしてくださり、全国的な美術に関するメディアに掲載されるなど大きな注目を集めました。

現在開催中の「金山平三と佐竹徳展―二人が見た風景―」では、著名な風景画家2人の交流を浮き彫りにする資料とともに展示しています。

12月5日から1月24日まで、「ちびまる子ちゃん」の原作者で知られる「デビュー30周年記念 さくらももこの世界展」を予定しています。原画約130点を中心とした内容で、冬休みにふさわしい親子・孫世代まで広い層に来館いただける企画となっています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成27年11月24日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次